

今季のスギ花粉情報 (第7報)

身近な自然と診療メモ
(3/26/2021)

西東京市兼子耳鼻咽喉科兼子順男先生よりスギ花粉飛散数提供

スギ花粉飛散開始日は2月6日、22日23日大量飛散があり、3月にはいり花粉数増加, 6日514個, 10日410個, 24日まで3月**2944個/cm²**
計4629個となりました。ヒノキ花粉飛散開始日は2月15日、計760個
飛散し、これからヒノキ花粉飛散に要注意です。3月21日雨・風を伴う猛烈な春の嵐があり、大量の雄花が開花せずに飛び去ったようです。

春分の日頃からの春の嵐によりスギの雄花は開花せずに飛び散ってしまうことが解っています。人間ではまだ雄花が残っています。これからの大量飛散は少なく終息に向かいます。

<診療メモ>

鼻粘膜が痛んでいる症例が多く認められます。鼻処置とともに抗アレルギー剤、点鼻薬など花粉治療は必要です。鼻の粘膜が乾燥し易出血症例・鼻の加湿低下によるのどの乾燥症例にインタル点鼻薬が有効ですが販売停止で後発品を使用しています。残念なことです。



(スギの雄花は激減しました。善福寺近隣 2021/3/22)



(スギ緑が増えました。人間 3/24/24)



(雄花は残っています。人間 3/24/24)



(鼻粘膜の血管が拡張し易出血性です)



(リノコートを塗布しました。)



(スズバチ 善福寺公園 (ハナカトウチ 善福寺) 2021/3/16)



(2021/3/22)



(スズ 人間 3/20)

(山口内科耳鼻咽喉科 3/26/2021)